

平成24年2月14日

北海道開発局

**パブリックコメント等を踏まえた
治水対策案の概略評価(案)について
(天塩川流域)**

第3回検討の場で提示した治水対策案一覧(1/2)

		現行計画		河川を中心とした方策					流域を中心とした方策			
		ダム	河道改修等※1	ダムの有効活用	遊水地（調節池）等	放水路（捷水路）	河道の掘削	引堤	堤防のかさ上げ	雨水貯留施設	雨水浸透施設	水田等の保全（機能向上）
【①河川整備計画】	0	サンルダム	河道の掘削 堤防の整備等									
【②河道改修を中心とした対策】	1	河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削					
	2	引堤	河道の掘削 堤防の整備等					引堤				
	3	引堤（現況の高水敷を確保）+ 河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削	引堤				
	4	堤防かさ上げ	河道の掘削 堤防の整備等						堤防のかさ上げ			
	5	堤防かさ上げ（市街地を除く 区間）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削		堤防のかさ上げ			
	6	放水路	河道の掘削 堤防の整備等			放水路						
	7	放水路（捷水路）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等			放水路 （捷水路）	河道の掘削					

※1 「河道の掘削」、「堤防の整備」、「河道内の樹木の伐採」は、現在の河川整備計画の方策で、全ての治水対策案に組み合わせている。

※2 「遊水機能を有する土地の保全」、「部分的に低い堤防の存置」、「霞堤の存置」、「水田の保全（現況）」、「森林の保全」、「洪水の予測・情報の提供等」、「水害保険等」については、第3回検討の場資料2の4頁に示すとおり、現計画の前提となっている方策または現計画でも実施している方策で、引き続き実施すべきものについては、全ての対策案と組み合わせることとするため、表示していない。

※3 治水対策案0については、第3回サンルダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場では「ダム+河道改修」と記載していたが、「サンルダム」と改める。

第3回検討の場で提示した治水対策案一覧(2/2)

		現行計画		河川を中心とした方策					流域を中心とした方策			
		ダム	河道改修等※1	ダムの有効活用	遊水地（調節池）等	放水路（捷水路）	河道の掘削	引堤	堤防のかさ上げ	雨水貯留施設	雨水浸透施設	水田等の保全（機能向上）
【③洪水調節施設により洪水流量を低減させる対策】	8	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）			河道の掘削					
	9	ダムの有効活用（岩尾内ダムの利水容量買い上げ）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等	ダムの有効活用（岩尾内ダム利水容量買い上げ）			河道の掘削					
	10	遊水地（名寄川）	河道の掘削 堤防の整備等		遊水地（名寄川）		河道の掘削					
	11	遊水地（天塩川+名寄川）	河道の掘削 堤防の整備等		遊水地（天塩川+名寄川）		河道の掘削					
	12	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）+遊水地	河道の掘削 堤防の整備等	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）	遊水地（天塩川+名寄川）		河道の掘削					
【④流域の貯留・浸透方策により洪水流量を低減させる対策】	13	雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削			雨水貯留施設	雨水浸透施設	
	14	水田等の保全（機能向上）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削					水田等の保全（機能向上）
	15	雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全（機能向上）+河道掘削	河道の掘削 堤防の整備等				河道の掘削			雨水貯留施設	雨水浸透施設	水田等の保全（機能向上）

※1 「河道の掘削」、「堤防の整備」、「河道内の樹木の伐採」は、現在の河川整備計画の方策で、全ての治水対策案に組み合わせている。

※2 「遊水機能を有する土地の保全」、「部分的に低い堤防の存置」、「霞堤の存置」、「水田の保全（現況）」、「森林の保全」、「洪水の予測・情報の提供等」、「水害保険等」については、第3回検討の場資料2の4頁に示すとおり、現計画の前提となっている方策または現計画でも実施している方策で、引き続き実施すべきものについては、全ての対策案と組み合わせることとするため、表示していない。

※3 治水対策案0については、第3回サンルダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場では「ダム+河道改修」と記載していたが、「サンルダム」と改める。

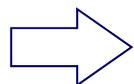
分類	No	治水対策案（実施内容※）	概略評価による抽出案
【①河川整備計画】	0	サンルダム	
【②河道改修を中心とした対策】	1	河道掘削	○
	2	引堤	
	3	引堤（現況の高水敷を確保）+河道掘削	○
	4	堤防かさ上げ	
	5	堤防かさ上げ（市街地を除く区間）+河道掘削	
	6	放水路	
	7	放水路（捷水路）+河道掘削	
【③洪水調節施設により洪水流量を低減させる対策】	8	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）+河道掘削	
	9	ダムの有効活用（岩尾内ダムの利水容量買い上げ）+河道掘削	○
	10	遊水地（名寄川）	
	11	遊水地（天塩川+名寄川）	○
	12	ダムの有効活用（岩尾内ダムかさ上げ）+遊水地	
【④流域の貯留・浸透方策により河道の洪水流量を低減させる対策】	13	雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削	○
	14	水田等の保全（機能向上）+河道掘削	
	15	雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全（機能向上）+河道掘削	

※実施内容は、上記のほか、現在の河川整備計画で実施する河道の掘削、堤防の整備、河道内樹木の伐採等を含む。

【関係者（関係利水者）】

○治水対策案No.9（ダムの有効活用（岩尾内ダムの利水容量買い上げ）＋河道掘削）

- ・ダムの有効活用（岩尾内ダムの利水容量買い上げ）＋河道掘削については、岩尾内ダムを水源とする利水者の利水計画を変更する必要があるため、関係利水者の同意が必要。

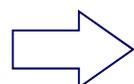


関係利水者である「北海道企業局」、「士別市」、「てしおがわ土地改良区」に確認し、同意出来ないとの回答であったため、棄却する。

【構成員、パブリックコメント】

○概略評価（案）で棄却した治水対策案へのご意見

- ・検討の場でのご意見 : 支持するご意見はなし
- ・パブリックコメントでのご意見 : 支持するご意見はなし



概略評価（案）で棄却した治水対策案は評価軸ごとの評価を行う治水対策案としない。

○新たな治水対策案の提案（パブリックコメント）

- ・パブリックコメントでの提案 : 提案なし

概略評価(案)による治水対策案の抽出の整理(1)

分類	No.	治水対策案(実施内容※)	概略評価(案)による抽出			
			完成までに要する費用	前回の抽出(案)	抽出	不適当と考えられる評価軸とその理由
【①河川整備計画】	0	サンルダム	約800億円			
【②河道改修を中心とした対策】	1	河道掘削	約1,000億円	○	○	
	2	引堤	約1,400億円			・コスト ・実現性
	3	引堤(現況の高水敷を確保)+河道掘削	約1,100億円	○	○	
	4	堤防かさ上げ	約1,500億円			・コスト ・実現性
	5	堤防かさ上げ(市街地を除く区間)+河道掘削	約1,400億円			・コスト ・実現性
	6	放水路	約2,000億円			・コスト ・実現性
	7	放水路(捷水路)+河道掘削	約1,800億円			・コスト ・実現性
【③洪水調節施設により洪水流量を低減させる対策】	8	ダムの有効活用(岩尾内ダムかさ上げ)+河道掘削	約1,200億円			・コスト ・実現性
	9	ダムの有効活用(岩尾内ダムの利水容量買い上げ)+河道掘削	不確定(注)	○		・実現性
	10	遊水地(名寄川)	約1,400億円			・コスト ・実現性

※実施内容は、上記のほか、現在の河川整備計画で実施する河道の掘削、堤防の整備、河道内樹木の伐採等を含む。

(注) 河道の掘削等に係る費用約900億円の他に、岩尾内ダムの利水容量の買い上げ費用等が必要となる。

概略評価(案)による治水対策案の抽出の整理(2)

分類	No.	治水対策案(実施内容※)	概略評価(案)による抽出			
			完成までに要する費用	前回の抽出(案)	抽出	不相当と考えられる評価軸とその理由
【③洪水調節施設により洪水流量を低減させる対策】	11	遊水地(天塩川+名寄川)	約1,100億円	○	○	
	12	ダムの有効活用(岩尾内ダムかさ上げ)+遊水地	約1,300億円			<ul style="list-style-type: none"> ・遊水地案(ケース11)に比べコストが高い ・遊水地(用地補償約330ha、家屋移転30戸、補償物件99件)建設による、地域に与える影響が大きいため、関係者の理解や地域の合意形成を得るのに相当の時間を要する。 ・岩尾内ダムかさ上げに伴い新たに橋梁の架け変え(5橋)、用地補償(約20ha)が必要となるなど地域への影響が大きいため、関係者の理解や地域の合意形成を得るのに相当の時間を要する。
【④流域の貯留・浸透方策により河道の洪水流量を低減させる対策】	13	雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削	約1,100億円	○	○	
	14	水田等の保全(機能向上)+河道掘削	約1,100億円			<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削案(ケース13)に比べ、水田等の機能向上に関して補償のあり方等の制度面での課題がある。また、機能向上を図る水田面積が約161km²と膨大なため、関係者の理解や地域の合意形成を得るのに相当の時間を要する。
	15	雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全(機能向上)+河道掘削	約1,200億円			<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削案(ケース13)に比べ、コストが高い。 ・雨水貯留施設、雨水浸透施設+河道掘削案(ケース13)に比べ、水田等の機能向上に関して補償のあり方等の制度面での課題がある。また、機能向上を図る水田面積が約161km²と膨大なため、関係者の理解や地域の合意形成を得るのに相当の時間を要する。

※実施内容は、上記のほか、現在の河川整備計画で実施する河道の掘削、堤防の整備、河道内樹木の伐採等を含む。

(注) 河道の掘削等に係る費用約900億円の他に、岩尾内ダムの利水容量の買い上げ費用等が必要となる。

概略評価（案）で抽出する治水対策案は下記の5案とする

分類	No	概略評価（案）で抽出する治水対策案
【①河川整備計画】	0	ダム案：サンルダム
【②河道改修を中心とした対策】	1	河道掘削案：河道掘削
	3	引堤＋河道掘削案：引堤（現況の高水敷を確保）＋河道掘削
【③洪水調節施設により洪水流量を低減させる対策】	11	遊水地案：遊水地（天塩川＋名寄川）
【④流域の貯留・浸透方策により河道の洪水流量を低減させる対策】	13	雨水貯留・浸透案：雨水貯留施設、雨水浸透施設＋河道掘削

※実施内容は、上記のほか、現在の河川整備計画で実施する河道の掘削、堤防の整備、河道内樹木の伐採等を含む。